



# 東京エレクトロンデバイスが提供する セキュリティソリューション

東京エレクトロン デバイス株式会社

CN BU CN営業本部  
アカウント第一営業部  
大澤 祐介

会社名	東京エレクトロン デバイス株式会社
設立年月日	1986年3月3日
代表者	代表取締役社長 徳重 敦之
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード: 2760)
資本金	24億9千5百万円 (2023年3月31日現在)
売上高	240,350百万円 (2023年3月期)
従業員数	連結: 1,318名 (2023年3月31日現在)
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1-4 横浜イーストスクエア

## 主な事業内容

- 半導体及び電子デバイス (EC) 事業**  
半導体、ボード、ソフトウェア、電子部品の販売、設計・開発
- コンピュータシステム関連 (CN) 事業**  
ネットワーク、ストレージ、ソフトウェアの販売、保守サービス

## 子会社

株式会社ファースト  
東京エレクトロンデバイス 長崎  
東京エレクトロンデバイス APAC  
東京エレクトロンデバイス 上海  
東京エレクトロンデバイス シンガポール  
東京エレクトロンデバイス タイ  
東京エレクトロンデバイス アメリカ

## 関連会社

Fidus Systems Inc.



東京エレクトロン デバイス



## 東京エレクトロン デバイス

商社  
ビジネス

半導体製品やビジネスソリューション等を提供

開発  
ビジネス

お客様のニーズに応えて  
設計受託や自社ブランド  
商品を提供

## 2つのビジネスを有する技術商社

## CN事業 (Computer Network事業)

海外ITベンダー

東京エレクトロンデバイス

発掘力

技術・  
サポート力

品質力

パートナー様

お客様

CN事業の強みである「発掘力」「技術・サポート力」「品質力」で  
お客様が求める最先端技術を「高品質」で提供



### Rubrik製品における弊社の位置付け

- ・ 国内ディストリビュータです（2016年取り扱い開始）
- ・ 業種、業態問わず、多数のお客様にご導入いただいております

## 技術支援

- 事前検証 機能検証・検証中のサポート
- ヘルプデスク Q&A対応

## 導入・導入後支援サービス

- PoC支援サービス 機器のお貸出し・ライセンスご提供  
簡易操作トレーニング・平日日中帯ヘルプデスクサポート
- 構築サービス 要件定義、ポリシー作成、設計・構築、簡易操作トレーニング
- 操作トレーニングサービス 管理UIの操作方法やポリシー設定等の基礎的な操作トレーニング

## 保守サポート

- 専門部隊 バックアップ製品専門の部隊がサポートを担当
- サポート実績 20年以上のバックアップ製品サポート実績
- 迅速な調査 例) ベンダーサポートと協調したリモートでの原因調査の実施
- 正確な通知 製品に関する重要な問題発生時はお客様個別に通知



# 導入事例

Connect Beyond

導入事例 **バックアップ時間の短縮**  
**運用管理業務の平準化**  
ハイパーコンバージドインフラ型バックアップ「ループリック」を採用  
シンプルな構成で運用性向上、バックアップ時間を飛躍的に短縮

アズワン株式会社

アズワン株式会社 様

理化機器の総合商社大手のアズワン株式会社は、データ量の増大に伴うバックアップ時間の長時間化、運用管理の複雑化などの課題を解決するべく、米国Rubrik(ループリック)社の統合型バックアップアプライアンス製品「Rubrik r6000シリーズ(以下、ループリック)」を導入しました。永久増分分によりバックアップ時間を見直す1台あたり2時間から10分に短縮。また直感的でわかりやすい管理GUIで運用管理業務の平準化を図るとともに、ハイパーコンバージドインフラ型(以下、HCI)の容易な拡張性、クラウドとの連携など、幅広いニーズに柔軟に対応しています。

## 導入前の課題

- データ量増大に伴い、バックアップが時間内に終わらない
- バックアップ運用管理の業務の平準化
- シンプルな構成で変更し、運用や保守を容易に行いたい

## ソリューションの利点

- 差分だけをバックアップする永久増分により大幅に処理時間を短縮
- 管理GUIでバックアップの状態をグラフで表示し見える化を実現
- 必要な機能を集約しオールインワンのアプライアンスで提供

## 導入後の効果

- バックアップ時間が從来の1台あたり2時間から10分に短縮、多重処理も実現
- 直感的で使いやすい管理GUIで新人でもバックアップの状態が把握可能
- 從来1ヶ月かかった拡張がサーバーを追加するだけで1時間以内に完了見込み

## 5年間で取扱商品点数が10倍以上に拡大 データ量急増に伴いバックアップが課題に

科学機器、産業機器、病院・介護用品を中心に専門的な分野の商品をカタログとECマーケットで販売しているアズワン株式会社。2019年3月期の連結純利益が前期比1.0%増の50億円となり、7年連続で過去最高を更新しました。顧客満足度を追求する同社で成長の原動力となる「販売の拡大」において、ターニングポイントとなつたのがECマーケットの拡大でした。

「現在、10万点の商品を掲載している新的カタログですが、掲載数には限界があります。この5年間で取扱

商品点数は10倍を超え、300万点以上となっています。商品点数の急増に伴い、データ量も急速に増加しITインフラの処理能力が課題でした」(猪田氏)

特に急務だったのが、幹幹システムを含むすべての業務システムを対象とするバックアップの改善です。

「従来、仮想サーバー200台規模のバックアップは、時間がかかりすぎて夜間で終わらなかったり、すべてをとりきることができないケースがありました。バックアップがとれていないことから、システムの障害発生時に復旧の遅れや重要な情報の消失を招くリスクに陥り合わせの状態でした」(猪田氏)



アズワン株式会社  
IT推進部  
猪田 真一 氏



アズワン株式会社  
IT推進部  
猪藤 雅幸 氏



アズワン株式会社

東京エレクトロン デバイス

導入事例 **運用コストと作業負荷の抑制**  
**運用効率化と迅速な普及**  
万が一の障害発生時にも迅速な復旧を実現する「Rubrik」を導入  
仮想化基盤との高い親和性でバックアップ/DRの負荷を大幅に抑制

岡谷鋼機株式会社 様

岡谷鋼機株式会社 様

岡谷鋼機株式会社では、バックアップ/DR(Disaster Recovery/災害復旧)システムの運用効率化と障害発生からの迅速な復旧を実現するため、Rubrikの仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik r6404」を導入しました。仮想化基盤の刷新を目的として同時に採用されたNutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャ(以下、HCI)製品「Nutanix Enterprise Cloud Platform NX-8035」と組み合わせることで、仮想化基盤におけるシステム運用とバックアップ/DR業務の効率化を達成。万が一の障害時に短時間でのシステム復旧を可能とし、ビジネスを停止させない環境を獲得しました。

## 導入前の課題

- バックアップ/DRシステムの運用負荷の抑制
- 万が一の障害発生時に迅速に復旧可能な環境の構築
- バックアップアプライアンスのストレージによる複数の障害点の発生

## ソリューションの利点

- 仮想化環境向けバックアップアプライアンス「Rubrik」によりバックアップ/DRシステムを強化
- HCI製品「Nutanix」との組み合わせで迅速かつ効率的なバックアップ/DRが可能に

## 導入後の効果

- 仮想化環境に最適なバックアップ/DR環境により運用の大幅な効率化
- メインサイトに障害が発生した場合でも早期サービス復旧可能
- オンライン式や仮想化環境、クラウドを問わないバックアップ/DR環境を実現
- バックアップシステムの集約による障害点の削減

## 2つの拠点間でバックアップ/DRを実施

### 運用の効率化と、より迅速な復旧が課題に

「もののづくりに貢献する性能をいかないゴーバリ化課題をパートナーを目指し、鉄鋼、情報、電気、産業資材、生活産業の4つの事業領域を軸として、グローバルにビジネスを開拓する岡谷鋼機。同社のビジネスを根柢から支えているのがITインフラであり、その設計・構築・運用を担うグループ会社の岡谷システムのサポートのもと、時代の進歩と技術の進化を捉えながらIT基盤の強化に継続して取り組んできました。

「近年ではグローバルに事業を展開する中で、データウーハウス(DWH)の構築による国内外子会社のデータの連携と一元管理をはじめ、Office 365の導入

によるコミュニケーション強化、RPA (Robotic Process Automation)の導入による営業業務の改善などを推進しています(猪田氏)

基幹系システムにおいては自社開発を行うとともに、周辺システムをVMwareによって仮想化統合し、現在では約150台の仮想サーバーを運用しています。

こうした仮想化統合の背景には物理リースの集約による運用の効率化やコスト削減だけでなく、インフラのソフトウェア化によるバックアップやDRの迅速化強化がありました。岡谷鋼機は2011年の東日本大震災をきっかけに、もとより検討していたDR環境を本格的に構築。現在では、メインサイトからバックアップ/DR先サイトへ一日に一度のバックアップ



岡谷鋼機株式会社  
企画 本部システム企画部  
部長  
猪田 隆仁 氏



岡谷システム株式会社  
ITインフラ事業本部  
SIサービス部  
藤原 崇 氏



岡谷システム株式会社  
岡谷市二丁目二番地1号  
建 立: 1957年  
代 表: 代表取締役社長 井上 順  
URL: https://www.okaya.co.jp/

東京エレクトロン デバイス

その他、多数のお客様にご導入いただいております。  
事例の詳細は→<https://cn.teldevice.co.jp/case/>

導入事例 **バックアップ時間の短縮**  
**リストアに要する作業負担・時間の削減**  
自治体の内部情報系業務シミュレーションによる情報通信基盤の信頼性・処理性能向上を「Rubrik」で実現

株式会社 松阪電子計算センター 様

株式会社 松阪電子計算センター 様



株式会社松阪電子計算センター  
営業本部 営業企画部  
部長代理  
齊田 利明 氏



株式会社松阪電子計算センター  
公共システム本部 ITインフラ部  
エンジニアリンググループ  
部長  
佐藤 昌幸 氏



株式会社松阪電子計算センター

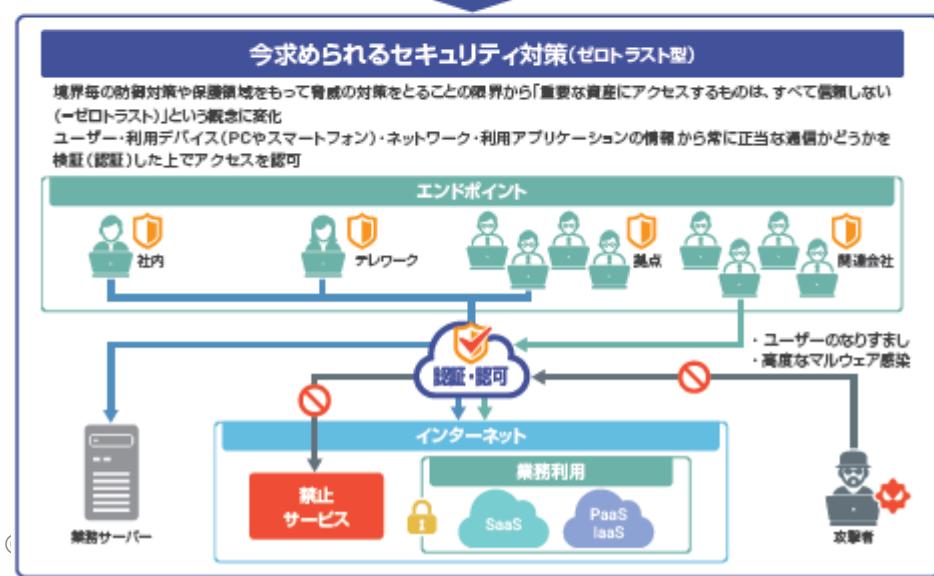
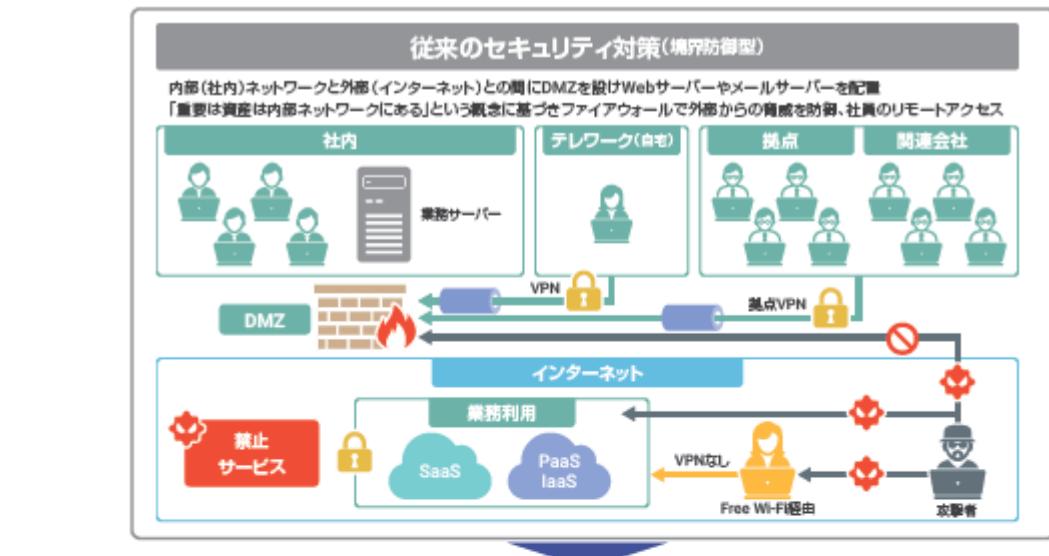
公共システム本部 ITインフラ部  
主任  
永崎 光也 氏

株式会社松阪電子計算センター

# ゼロトラスト セキュリティ ~「快適なネットワーク」と「安全な運用」の両立を目指して~



業務システムのクラウド化やテレワークの普及が急速に進展し利用者の利便性は向上したもの  
の環境の多様化に応じて情報資産の完全な保護を実現するには従来セキュリティモデルでは  
限界がありセキュリティの管理者は従来とは違った観点での対策が必要となっています。



【従来の「境界防御モデル」では万全なセキュリティ維持が困難に】

- \* 社外からのアクセス増加: 在宅勤務・Wi-Fiスポットを利用したリモートワーク
- \* 利用端末の多様化: 配布PCのみならずモバイルデバイスを含むBYOD
- \* 情報共有範囲の拡大: 企業の買収・統合や協力会社との連携

## ゼロトラストセキュリティの実現に向けて必要な対策例

### エンドポイント

#### エンドポイントセキュリティ(EDR/EPP)

- ・ デバイスの保護・インシデント検知・対処
- ・ ログの統合管理と分析



### ネットワーク

#### ネットワークの可視化 検知・対処

- ・ AI-Driven型の新しいNDRモデル
- ・ 自立型AIでネットワークトラフィックの状況認識・脅威検出



### クラウド

#### クラウドサービス利用制御 (IAP/CASB/DLP)

- ・ クラウドサービス利用の動的制御
- ・ セキュリティポリシーの統制



### セキュリティ運用

#### セキュリティ検証 (Automated Security Validation)

- ・ ネットワーク内部のリアルな脅威対応状況を可視化
- ・ ネットワーク内部のリアルな脅威対応状況を可視化



### データ保護

#### サイバーレジリエンスにつながるデータ保護

- ・ バックアップデータ/システムを外部から保護
- ・ ランサムウェアの検出による、安全なデータからの復旧



テレワーク/クラウドアクセス関連ソリューション			社内/トラストネットワーク関連ソリューション				脆弱性対策	
SDP	SWG	CASB						
	SSE/SASE		Wi-Fi	VPN	Firewall	WAF	セキュリティ検証	脆弱性管理
			Cognitive Wi-Fi <b>ARISTA</b> <b>Extreme</b> networks	<b>CITRIX</b>	<b>paloalto</b> NETWORKS <b>FORTINET</b>	<b>f5</b> <b>CLOUDFLARE</b>	Automated Security Validation <b>PENTERA</b>	脆弱性自動診断 <b>Balbix</b>
エンドポイント			Cloud Network Platform				セキュリティ運用	
エンドポイント	シークレット管理	HSM	DNS/DHCP	Cloud Network Platform				
Active EDR		<b>ENTRUST</b> <b>THALES</b>	Infoblox	CDN, IDS, FW, WAF, SandBox, Proxy, VPN				
<b>SentinelOne</b>	<b>HashiCorp Vault</b>			<b>CLOUDFLARE</b>				
クラウド管理/実行			ネットワークソリューション				AI/DLソリューション	
CSPM	IaC		IP Clos	L2/L3スイッチ	ADC	GPU	GPU System	Accelerator
<b>netskope</b>	<b>Terraform</b>		<b>JUNIPER</b> NETWORKS	DCNW+NDR <b>ARISTA</b> <b>NVIDIA</b>	キャンパス <b>Extreme</b> networks	<b>f5</b> <b>CITRIX</b>	<b>NVIDIA</b>	<b>cerebras</b>
仮想マシンインフラ			ファイルストレージソリューション				バックアップソリューション	
HCI	3Tier		Scale Out	Scale Up		Cloud Backup	その他	
<b>NUTANIX</b>	<b>PURESTORAGE</b>		Power Scale <b>DELL</b> Technologies	Unity XT <b>DELL</b> Technologies		<b>rubrik</b>	<b>veeam</b>	



**共に創る 新たな価値を**

「Connect Beyond」は、ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、あらゆる既成概念を超えて、皆さまと共に新たな価値の創造に挑戦するという私たちの姿勢を表しています。